

# 特集 消防本部の新庁舎が完成

## 消防機能をさらに充実、強化して 市民の安全を守ります



新消防庁舎を上空から見たイメージ図

昨年から工事を進めていた新消防本部庁舎が完成し、3月7日(土曜日)から運用を開始します。

「災害に強い消防庁舎」をコンセプトにして、救助や消火活動、防災設備を備えた災害活動拠点として、消防機能の充実強化を図りました。

消防総務課 ☎76・2112



綾瀬市消防本部  
消防長小菅 誠二

いよいよ、新消防本部庁舎の運用が3月7日からスタートいたします。

これもひとえに地域の皆さまのご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

この新消防本部庁舎の完成を契機といたしまして、より一層、消防活動体制の充実強化を図るとともに、我々職員にあっても新たな気持ちで日々の業務に、これまで以上にまい進し、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに努めてまいりますので、今後とも特段のご支援とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

### 救急需要に対する安全対策

年々増加する救急需要に対応するため、安全衛生対策として救急消毒室を機能強化しました。扉に触れずに救急消毒室に入ることができるほか、救急資機材庫、救急隊員用の乾燥室や現場で汚れたストレッチャーを丸ごと洗浄できる洗い場を完備したことで、一層素早く衛生的に救急活動などを行えるようになりました。

新たに整備された設備を最大限に活用して、救急活動を行っていきます。



### 〈建設のポイント〉

3階建てにし、コンパクトでありながら最新設備を整備

同庁舎は、大規模災害時の災害活動拠点として、機能強化を図っています。

大規模災害時に本市の消防職員、関係団体のほか、全国から緊急消防援助隊が集結し、消防・救助・救急活動などに従事するため、その活動拠点を整備することは必要不可欠です。長期化する災害活動に十分に対応できるよう、飲料水兼用耐震性貯水槽を配備し、災害活動に必要な生活用水を確保するほか、衛生面への配慮から災害用マンホールトイレを配備しています。自家給油設備にはガソリン、軽油ともに1万リットルを備え、緊急車両への給油環境も万全です。大規模災害時であっても、市民の安心安全を確保するために十分な機能を備えた消防庁舎にしました。

これまで以上に充実した防火衣ロッカーや救急消毒室を完備しており、安全かつ迅速確実な出動が可能になりました。また、24時間、昼夜問わず業務に当たる署員の執務環境を整備し出動に備えるため、仮眠室の個室化やシャワー室を整備しました。

### 市民に親しまれ、愛される消防庁舎を目指します



消防総務課 主任  
堂田 崇文

構想から約5年、ようやく完成までたどり着きました。綾瀬市の重要なプロジェクトを無事に終えほっとしています。

市民の安心と安全を確保する災害拠点の中核となるよう、計画に当たって先進都市の視察や聞き取りを重ねました。同庁舎はこれまでにない機能を多数備えた画期的な施設になっています。市民の方からも愛される同庁舎になるように、同庁舎を活用して、職員一同、日々の業務に力を入れていきます。

### <外>



### 正面入口

正面玄関は全面ガラス張りとなり、市民の方が気軽に来庁できる雰囲気になりました。また、誰でも入りやすいように、スロープや手すりなどを設置し、バリアフリーにも配慮しました。入口右手には、自動体外式除細動器(AED)と緊急通報装置を設置しており、緊急時には市民の方が活用できるようになっています。



### 災害用マンホールトイレ

大規模災害時には、インフラが停止してしまうことがあります。長期化する災害活動にも十分に対応できるよう、災害用マンホールトイレを10基設置しました。また、下水道管と直結していることから衛生的にも安心して活用することができます。



### 車庫

必要な車両が迅速に出動できるように、シャッターの開閉は全自動式にし、奥行きのあるスペースにしました。



### 飲料水兼用耐震性貯水槽

大規模災害時には、同庁舎が緊急消防援助隊の活動拠点になります。同貯水槽には100tの生活用水を蓄えることができ、災害活動が長期化した場合でも、災害活動拠点として十分に機能が発揮できるようにしました。

### 非常時に備えるための訓練



### 訓練施設

さまざまな災害を想定し、消防・救助訓練が実施できるよう放水壁、訓練用連結送水管、放水訓練室などを完備しており、日々充実した訓練を実施することで災害活動に万全を期します。



ココに注目!



空気ポンペを背負っての訓練をする設備



### バルコニー

2・3階の庁舎外壁を1周するように、バルコニーを設置しました。体力錬成の一つとして、ランニングができる環境を作り、災害活動に必要な基礎体力をいつでも鍛えられるようにしています。さらに、災害時にガラスなどが破損した際の飛散防止にもなっています。